



なきごえ



1995

5



(撮影：榊原 安昭)

- 2 — New Face バーバリシープ続々誕生(榊原 安昭)
- 3 — 動物と私 わあ、生きてる(光田 知恵子)
カバーウォッチング ミズオオトカゲ(小林 崇宏)
- 4 — 身近な夜行性動物⑧〔最終回〕
天王寺動物園の夜行性動物舎(早川 篤)
- 6 — アカコンゴウインコの繁殖(藤井 秀樹)
- 8 — グラフZOO 卵いろいろ(土谷 正道)
- 10 — 動物なんでも相談室(吉本 昌俊)
- 11 — ZOO DIARY

カバーウォッチング

ミズオオトカゲ

トカゲ目 オオトカゲ科

Varanus salvator

インドから東南アジアに分布する大型のトカゲで、大きなものは2mを越すものがあります。水を好み、早く泳ぐことができ、小動物、鳥や爬虫類の卵を好んで食べます。

(撮影：小林 崇宏)

||||| 動物と私 |||||

わあ、生きてる

2年前、私は出版社に入社しました。担当は、幼稚園・保育園の園児を対象とした自然関係の月刊絵本。家業が造園業と農業だったせいか、植物に関する知識は、いくらあっても、動物や虫に関する知識は、ほとんど知りませんでした。それだけに、入社以来、自然と接する機会が増え、驚きの多い毎日を送っています。

3月、春探しの取材に奈良へ出かけました。もう春の日ざしが暖かく感じられ、草たちも茎をのびし、花を咲かせています。順調に取材が終わり、さて帰ろうとしたとき、一匹のヘビがひよこんと顔を出しました。冬眠から覚めたところのようで、まだ眠たそうなようです。普段なら、なるべく近寄らないようにするはずの私も、そんなヘビのとぼけたようすと、近くに、自然によく親しんでいる人がいたことも手伝ってか、ちよつと触ってみたいという気になりました。手のひらにのせてもらおうと、ほんわかした暖かさがじわー。私のヘビに対するイメージといえば、“冷たくつて、ヌルッとしている”というものだったので驚きでした。その暖かさをじんわり感じていると、「この子、ちゃんと生きてる。がんばって生きて



光田 知恵子 さん

(ひかりのくに(株) 雑誌編集部)

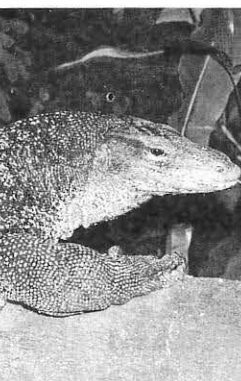
る。」という気持ちがかんぱん広がって、とてもうれしくなりました。

これも、春のことですが、会社の方がモンシロチョウのさなぎを会社を持ってきてくれました。成虫、幼虫、さなぎは見たことがあっても羽化するところは見たことがありません。まず、さなぎを割りばしに接着剤でつけ、机の上に立てておきました。茶色だったさなぎの色が日に日に変わっていきます。羽が透けて見え、体ができてきたようすがわかるのです。ある日、心待ちにしていた羽化が始まりました。少しずつ少しずつ、さなぎから体を出していきます。羽は、まだ縮んだままですが、しっかりと上の方へ登っていきます。しばらくじっとして、体が固まってくるのを待つと、突然、体をぶるぶると振るわせました。体を振るわすことで、羽を広げる液のようなものを羽の先まで送っているということでした。あんなに縮んでいた羽が、まっすぐぴんと広がっていくようすを見ると、またまた、「わあ、がんばってる。生きてる。」という思いが広がっていきました。

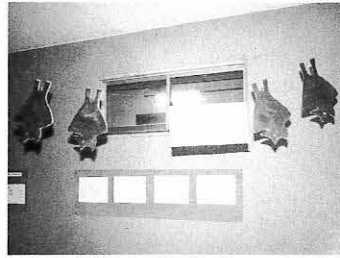
自然に触れること、自然を見ること、聞くこと、におうこと、味わうこと、いろいろな体験があります。犬と遊んでいる途中、ふっと犬のにおいを感じて、なんだか安心して、ヒヨドリのおしりを理めようとして、その体の何ともいえない感触にびびりたり。ある時は、枯れたと思っていた木から芽を出しているのを見つけて喜んだり。こういった体験は、全て生き物たちの生きる力を感じさせてくれるものです。みんな同じように、ぬくもりをもち、生きていくということを知らせてくれるのです。

今、本を出版する側として、自然の、生き物の何を伝えていけばいいのかということを考えるとき、この自分の体験をとおした感動や思いを大切にしていきたいと思っています。

(みつだ ちえこ)



夜行性動物舎



入口ではダンボールのコウモリがお出迎えます。



見学する前にフクロウからのメッセージを読んでもらってください。

ただ見るだけの動物園から、見て学ぶための展示の一つの試みとして、夜行性動物舎ではまず日本産、特に大阪近郊でも見られる動物の展示に力を入れてきました。しかし、残念なことに動物園での展示だけで、動物たちの現状を伝えることは十分だとは言えません。そこで、今回なきごえをお借りして7回に分けて、野外研究者の方々に、その研究成果や野生動物や彼らを取りまく現状を紹介していただきました。私たちの住む街から、ほんの少し足を延ばせば、まだ自然が残っていて、そこでは動物たちが生活しているのです。でも、その自然も決して永遠に続くものではないようです。残された自然や動物たちとどのようにして共存していくのか、今こそ真剣に考えていかなければいけない時になっています。私たちにとって夜行性動物が、もっと身近な動物になり、愛すべき隣人として子供たちに知ってもらいたいと思います。そのために動物園ができることをもっと考え展示を生かせばと考えています。

「身近な夜行性動物」の連載を終るにあたって、当園の夜行性動物舎で行っている教育的な試みを紹介したいと思います。

明 るい園内から、夜行性動物舎の中に入ってくると、そこは暗闇の世界です。子どもたちが「どうして電気をつけないの」と親や先生に質問をすると「ここは夜行性動物という夜にしか動かない動物がいるんだよ」と説明しています。

そうです、ここは人工的に昼と夜を逆転させて夜の動物たちの生活を営むための場所なのです。こ

この担当になって2年半が過ぎました。動物園って、何をやる所なのか。どのように展示をすれば効果的な学習ができるのだろうか。様々な試行をしながら仕事をしてきましたが、こちらの希望を利用する側に伝えるのは、本当に難しいことだと思います。展示を通して伝えたい飼育係の本音を書いてみることにします。

み なさんにとって動物園とは、どういう場所なのでしょう。まずは、このことから考えてみましょう。話は変わりますが、1年前からドブネズミの展示を始めました。コンクリートの打ちっぱなしの室内に、空缶やちりとりなどを入れ、そこでドブネズミが生活しています。

ネズミって聞くと、どんな印象を持ちますか。汚ない、くさい、とにかく悪い印象を持つ方が多いでしょう。そのせいか、ドブネズミの前では、「何これ!」とか、「こんな見んでよろしい。早よ行こ!」とか、「何で動物園で、こんなもの見なあかんねん!」と文句を言う人がいます。もちろん、展示場の前面にはドブネズミに関する情報も簡単に書いているのですが、それを読もうともせず、ネズミなんてと一言で片づけられてしまいます。これがコアアラヤパンダだと、行列をつくってでも見ようとするのでしょうが、ドブネズミだとそうは思えないようですね。多くの人にとって動物園って「珍しい動物を見るだけのところ」なんではないでしょうか。残念ながら、こう考える人は本当に多いと思います。これは日本の動物園が教育施設としてではなく、見世物小屋としての要素を利用者に押しつけてきた歴史の結果なのでしょう。現在でも行政側の多くの方は、本来の動物園の意義を考えるとなく、入園者が増えることが市民の理解を得ることだと考え、動物園なのか遊園地なのかかわからないような場所になっています。

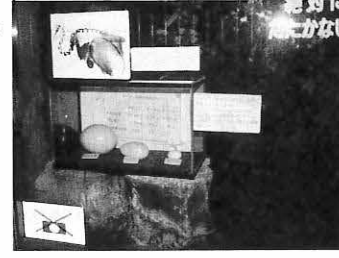
動 物園は動物を展示し、それを通して動物を取りまく環境や人間との関わりや問題を考えていく場なのではないかと私は考えています。動物園が珍しい動物を見る場だというのは、よく理解できます。しかし、それが全てになってしまっただけではなりません。もし、そうなら



ネズミからもメッセージがあります。



フサオネズミカンガルーの説明



キーウィのたまごの説明

動物園ではなく、デパートの催し物〇〇展と同じものになってしまいます。そうなれば動物園は単に野生動物の消費者ということになります。動物園廃止論者が唱えるように、もしこのように動物を見せるだけの場であるなら必要ないと言われても仕方ないと思います。地球規模の環境破壊が進む今、特に大阪のように都市生活をし、自然と触れ合う機会が少なくなった子どもたちにとって、動物園は野生動物を通して自然について学ぶことのできる場であるべきだと思います。そのためにも、珍しい世界各地の動物を見ることと同じように、日本にいる身近な動物を見ることも大切なことなのです。タヌキやシカを見て、珍らしくない、という人がいますが、野生のシカやタヌキを見たことのある人やいつでも彼等を見ることができるよう自然環境が家のまわりに残っている人なんて、そんなにいないんじゃないでしょうか。日本産動物も外国産動物も本当は私達にとって同じくらい珍しいというか理解していないはずなのですが、どうも日本産は身近にいて知っているつもりになっているのでしょね。これは別の見方をすればゾウやキリンでも同じことです。日本での生活では絵本やテレビが普及していますから、生まれた時からずっとゾウやキリンなどを見慣れています。本物のゾウを見ても、「ほら、ゾウさんよ大きいね。」と言うくらいで別に驚きもしないのです。でも、よく考えてください。ゾウやキリンについて皆さんどれくらい知っていますか。見慣れてしまっている動物のことは知っているつもりになるだけではないですか。私も含めて日本では情報に囲まれた生活があります。ですから、自分で知ったこととまわりから入ってきたことの区別がつかなくなってしまっているのではないのでしょうか。頭に入った情報はイメージとして、体にしみ込んでしまっています。そして自分の目で確かめるよりも情報の方を信じてはいませんか。

夜 行性動物舎では、ただ動物を見るだけではなく、その動物に関する情報や動物そのものをよく観察するためヒントなどをパネルにして展示場の前面のガラスに張っています。内容は、

ここではあえて書かずにおきますが、書いていることは全て利用者の話を立ち聞きしたことをヒントに作ったものばかりです。手づくりのパネルですから、少々読みづらいものになっていますが、夜行性動物舎を利用する時には、ぜひ読んでください。そしてよく動物の行動や形態を観察してみれば、今まで見慣れた動物たちでも、自分なりの新しい発見ができると思います。動物園に来て、動物を確認して帰っていくのではなく、どんなに小さくてもいいですから発見して帰ってもらいたいものです。

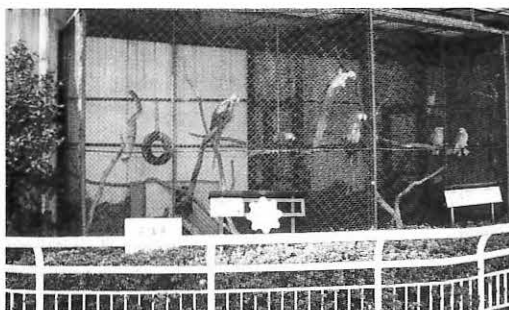
動 物園とはどういう場所なのでしょう。今では「環境学習の場」と「自然保護の場」とあると言われています。これは動物園側が利用者側に唱えているものです。これからの動物園をどうしたものにするのかを決めていくのは利用者ひとりひとりの考えにかかっているとでもよいでしょう。皆さんが、珍しい動物が見ればそれでいいと言うのであれば、そうなるでしょう。しかし、そんな動物園はその存在理由をも失ってしまっているはず。今後、動物園が動物園として存在していくためには、娯楽施設としてではなく、あくまでも生涯学習の場であればならないと思います。もちろん学習というと堅苦しい感じを与えますが、動物園はやはり楽しい所であるべきであって楽しくなければ動物園ではないでしょう。皆さんが楽しみながら、動物や彼らを取りまく環境について考え、そこから人と動物との関わり、自分たちが何をすべきかを考えた話し合ったりすることができる場や機会を持つ場所になることが、これからの動物園だと思っています。今、動物園は大きく変わらなければならない時代になっています。何度も言うようですが、これからの動物園をつくるのは、そこで働く人だけの問題ではなく、それを利用する皆さんひとりひとりだということを忘れないでください。

最後になりましたが、「身近な夜行性動物」の連載にご執筆いただいた方々に感謝いたします。
(飼育課：早川 篤)

アカコンゴウインコの繁殖

当園では現在、4種類のインコの仲間を飼育展示しています。そのなかのアカコンゴウインコが1994年6月に、当園で初めて繁殖に成功しましたので、その経過についてお話します。

アカコンゴウインコは小鳥舎の一角にあるオウム・インコ類展示室で飼育しています。展示施設は屋外にあり屋根付きで、床と後面の壁はコンクリートで、残りの面は金網でできていま



オウム・インコ舎の全景

す。大きさは高さ274cm、幅200cm、奥行144cmと狭く、北向きで、右隣にはボウシインコ類を展示しており、けっして良い環境とはいえません。ケージ内には止り木と巣箱、餌箱、水盤を置いています。

1979年からメスのアカコンゴウインコの飼育を始め、翌年オスを導入しました。その頃はスマレコンゴウインコなど別のインコ類と雑居飼育していました。

雑居飼育では落ちついて繁殖ができないと考え、1991年からはアカコンゴウインコをみの飼育に切り換えました。また、この年には新しいメスを導入しました。

繁殖をめざし、翌年からは相性を見るためメスを入替えたり3羽を同居させたりしました。また、



設置した巣箱

他園の成功例を参考に巣箱を作り設置しました。巣箱の大きさは高さ90cm、幅90cm、奥行62cmで、インコが出入りしやすいように巣箱内にとまり木を取りつけました。また、観察のため開閉自由な窓もつけました。

1993年に以前からいたメスが死亡し、今回繁殖したつがいのみを飼育するようになりました。また、この年からオランダで開発されたオウム、インコ用の人工飼料を使用し始めました。人工飼料を給餌する前はヒマワリの種を中心に少量の果実類を給餌していましたが、繁殖成功例の多い諸外国では人工飼料を使用しているという情報を得たので人工飼料中心の給餌に変更しました。

産卵は当園の記録では5～7月に集中しています。今回繁殖に成功したつがいは1993年にも産卵していますが、残念ながら無精卵でした。

そこで、このつがいに刺激を与え繁殖を成功させようと考え、まず、1994年4月から飼料に変化をつけました。人工飼料に加えパンやムシイモ、



繁殖用飼料(左上が人工飼料)

リンゴ、バナナ、ヒマワリの種も給餌するようにしました。

また、設置していた巣箱をきれいに掃除し、チップ(木の屑)を巣箱内に敷きつめました。するとチップを入れた直後からメスが巣箱内に頻繁に出入りするようになりました。アカコンゴウインコは樹洞を巣として利用するといわれています。もしかするとチップの香りに誘われたのかもしれませんが。

5月に入るとメスは巣箱にこもりっきりになったので、数日後にそっと巣箱の中をのぞいてみるとメスは既に卵を抱いていました。それからはメスに刺激を与えないよう巣箱をのぞかず、展示場の掃除もできるだけ静かに行いました。

アカコンゴウインコのふ化日数は一般に約30日といわれているので、産卵を確認してから1か月が過ぎた6月に再度巣箱をのぞいてみました。昨

年産卵した卵がすべて無精卵だったので、今年もそうだろうとあまり期待せずに覗き込むと、なんとメス親の横に小さな恐竜のような赤裸で目も開いていないヒナが2羽ちょこんといるではありませんか。「とうとうやった。」という喜びがこみあげてきました。

初めて見た時のヒナは体長が8cm位でした。本当は体重やからだの各部位の大きさを測定したかったのですが、当園にとってもこのメス親にとっても初めての繁殖なので、落ち着いてヒナを育てることができるよう測定は諦めました。



25日齢のひな

また、できるだけ刺激を与えないようにするためヒナの観察も極力控えることにしました。ヒナの成長過程は表-1を参照して下さい。

表-1: ヒナの成長過程

日 齢	特 徴
0	ヒナ2羽確認、体長約8cm
9	体長約12cm
18	両翼と尾部に羽軸確認
21	1羽開眼
25	頭部に羽軸、両翼に筆毛確認
31	尾部・頭部に筆毛確認
44	体長約25cm
80	巣箱入口より顔を出す
85	2羽巣立ち
91	初飛翔
100	自力採餌確認



70日齢のひな

その後ヒナは順調に成長し、現在では親と同じぐらいの大きさになっています。両親の2回目の繁殖をめざすため、ヒナは隔離飼育しています。

今回アカコンゴウインコの繁殖に成功した要因を解明するのは非常に難しいことですが、よかったと思われることをいくつかあげてみると、

1. 雑居飼育から単一種のつがいのみの飼育に変更したこと。
2. つがいの相性が良かったこと。
3. 巣箱を設置し、巣材にチップを利用したこと。
4. 栄養バランスのとれた人工飼料を使用し、これに加え繁殖期に果実類を給餌し、飼料に変化をつけたこと。

などが考えられます。飼育施設の立地条件はけっして良いものとはいえませんが、他の条件を整備すれば繁殖は可能であると思います。

アカコンゴウインコは南アメリカのジャングルに生息する大変羽色のきれいな大型インコです。その美しさからペットとして人間に飼われるようになったのに加え、生息環境の破壊が進み、近年野生での生息数が著しく減少しています。現在この種を保護するためには、様々な方策が取られています。国際的にはワシントン条約の付属書Iに該当し、輸出入に厳しい規制が設けられています。また、国内でもワシントン条約国内法に基づいて、ペットとして簡単に飼育できないように規制されています。

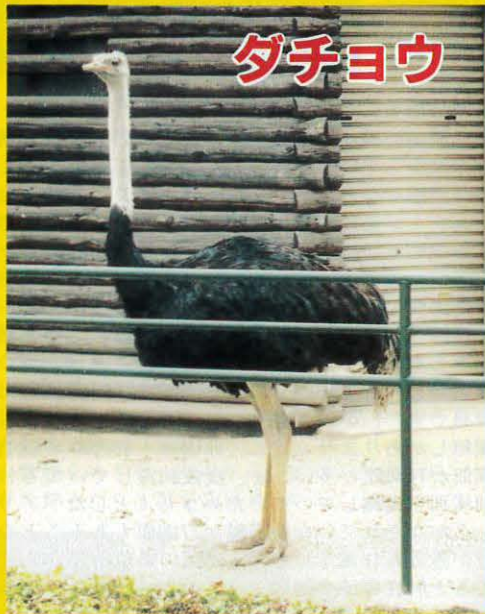
(社)日本動物園水族館協会に加盟している動物園と水族館で、1994年3月末現在アカコンゴウインコを飼育しているのは39園館で、飼育総数は97羽です。しかし、過去繁殖に成功した園館は6園館しかありません。この原因は1羽のみの飼育園館が14園館と多いこと、複数飼育していても性別鑑別を実施していないためきちんとしたペアリングがなされていない園館が17園館もあることなどが考えられます。また、今回の繁殖結果から考えると飼育環境や飼料、ペアの相性などにも問題がありそうです。こうした現状を打開するため、近く(社)日本動物園水族館協会はアカコンゴウインコを種別調整種に指定し、血統登録の実施と繁殖の推進をはかる予定です。

当園も今回の経験を活かし、他園とも協力しながら、この希少で貴重なインコの種の保存のため更なる繁殖を目指して努力を続けていきたいと思っています。

(飼育課: 藤井 秀樹)

ガラ

ZOO



ダチヨウ

サバンナや半砂漠で地上にくぼみを作り、そこに産みます。今、生きている鳥では一番大きな卵を産みます。

(写真はオス)



タンチヨウ

湿原にアシなどを積み上げ巣を作り、卵を2個産みます。抱卵期間は約1ヵ月です。

ヨーロッパホンケワタガモ

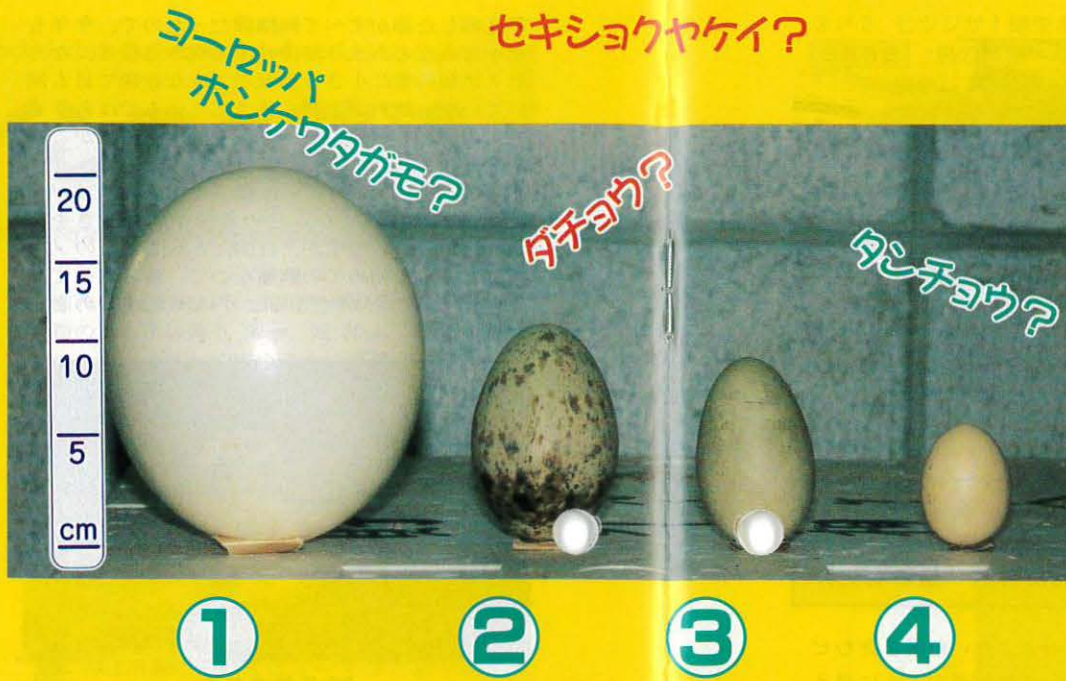


ヨーロッパの北極に近い寒い地方でヒナをかえすので、自分の綿羽を多量に抜いて巣に敷きつめて卵を抱きます。

セキショクヤケイ



ニワトリの原種でニワトリよりもやや小さめの卵を産みます。



①

②

③

④

今回は、大小、色、形の違う卵を並べてみました。どの卵がどの鳥の卵か考えてみてください。 (構成：土谷正道)



卵いろいろ

動物 なんでも 相談室

フェレットを飼い始めましたが臭いを消すことはできないでしょうか。
(名張市 吉井和江)

まず臭いを完全に消すことはできません。フェレットは、毛皮をとるためにヨーロッパケナガイタチを家畜化したものです。イタチの仲間であるので比較的強い臭いを持っています。

この強い臭いは肛門腺から出るので、手術でこれを除去すればかなり臭いは無くなるでしょう。しかし、体全体から出る体臭は除去のしようがありません。石鹸などで洗うことで一時的に解決しますが、動物の皮膚は洗剤に弱いのであまりおすすめてできません。

さて哺乳動物は何らかの臭いをもっています。ご存知だと思いますが、人間も臭いをもっています。本来、動物にとってこの臭いは自分を知り、相手を知り、子を区別し、親を確認するといった必要欠くべからざる情報なのです。臭いがあるこそ動物は安心して過ごせるようですから、臭いを消すために無理をせず、この臭いとしょうずに付き合う方が賢明と言えるかもしれません。

(飼育課：吉本昌俊)



カバは血の汗を出すと聞きますがほんとは、水中にどのくらい潜っているのですか。
(東住吉区 星本聡史)

カバは血の汗を出しません。赤い色素を含むピンク色の粘液が分泌され、これが血のように見えるのです。

ご存じのとおりカバは水中で過ごすことが多いですね。しかし夜には草や木の葉、木の根を食べるため、水から外へ出ますが皮膚が乾燥するのでピンク色の粘液が分泌され皮膚を覆うのです。

カバの皮膚は大へん厚いのですが、その表面の角質層が極めて薄いので、乾燥しているとき、ヒビ割れを起こしたり、体表面から水分が蒸発しやすくその損失が多くなります。水中にいるときは水分の損失を心配する必要はありませんが、水の外で過ごすときには、この粘液はヒビ割れや水分の損失を防ぐというわけです。そして粘液中の赤い色素は紫外線の直射から皮膚を守り、また粘液の性状はアルカリ性で細菌の感染を防ぐ作用があるといます。

潜ることができる時間は、長くて5分くらいです。当園のカバはどのくらいの時間潜っているのか10回ほど計ってみましたところ下記のとおりでした。

- 1分20秒、1分45秒、1分02秒
- 1分34秒、1分17秒、1分51秒
- 1分06秒、1分11秒、58秒、49秒

ただし、これはカバが静かに潜って、呼吸するために鼻を水から出したり入れたりしている状態のもので、危険が迫ったりしたときは5分ぐらひは潜っていることができるでしょう。

(飼育課：吉本昌俊)

3/2. ヒツジが1頭生まれました。

3月3日 “鳥の楽園”で展示しているホオアカトキが足を骨折したので手術をしました。



3/8. オスのグラントシマウマを群と同居させました。これは妊娠したメスが安心して出産、育児できるように隔離していたもので、昨年10月に生まれた赤ちゃんが、大きくなったので同居させたものです。

今季4羽目のオウサマペンギンが産卵しました。

3月9日 今季最初のエミューが1羽ふ化しました。1月14日に産卵し、人工ふ化を試みていたものです。ふ化日数は54日でした。



トカラヤギが1頭生まれました。

3月11日 ニホンコウノトリが今季初めて産卵しました。順調にいけば4月の中旬にはふ化するでしょう。



3/12. 今季最初のバーバリシープが生まれました。双子でした。

レッサーパンダが交尾しました。

3/13. オスのシショザル1頭を仙台市八木山動物公園に贈りました。

キーウィが産卵しました。

3/14. 今季3羽目のフンボルトペンギンがふ化しました。

3/15. 滋賀県立琵琶湖文化館からブルーギルとオオクチバス(ブラックバス)をそれぞれ数十匹いただきました。

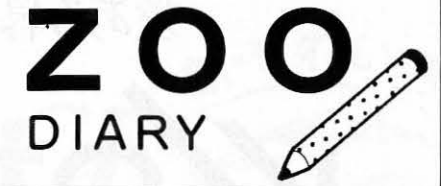
3/16. クロサイが交尾しました。ニホンコウノトリが4個目の卵を産みました。

3/17. ミナミシシギ3頭を京都市動物園からいただきました。

3/18. セグロジャッカルのおスが起立困難になったので、治療を始めました。

3/19. “動物園のおじさんのお話”の行事とし

今月もおもしろ情報満載



てバードウォッチングを“鳥の楽園”で行いました。

カナダツルが1卵目を産みました。

3/22. イワトビペンギンが今季初めて産卵しました。

キジ舎で展示しているタンザニアアカノドシャコが産卵しました。

3月23日 爬虫類生態館“アイファー”がオープンしました。“アイファー”の由来は展示している動物(無脊椎動物、魚類、両生類、爬虫類)の英語のイニシャルをつないだものです。オープンセレモニーを行い阪口英一大阪市助役らがテープカットしたあと一般公開しました。



3/24. ヤギの蹄が伸びたので、切りました。

3月27日 3月18日に起立困難になったセグロジャッカルの状態がよくなったので、展示を再開しました。



■お知らせ■

- 「ヒツジの毛刈り」
日時：6月1日(日) 午前9時30～
- 「サマースクール生徒募集」
期間：6月1日(日)～30日(金)
- 動物園のおじさんのお話
「爬虫類生態館ガイド」
日時：6月18日(日) 午後1時～
場所：は虫類生態館

訂正：3月号P3、左側本文1行目「盛岡藩御狩り場日記」は「盛岡藩御狩り日記」のまちがいでした。

愛ある暮らし、応援します。

Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光／監修
B5変型判・オールカラー
定価680円

動物園で暮らす様々な生き物達、
自然の中ではどんな暮らしをして
いるのか？ 動物園での世話
の仕方は？ 仲間はず？ など、
写真と精密イラストをまじえ紹
介します。

暮らしとかがたシリーズ<既刊本>
B5変型判・オールカラー・各定価680円

むし暮らしと かがた

野山でみかける身近な昆虫たち
250種を紹介。

ちいさないきもの暮らしと かがた

昆虫以外の小さな生き物を320
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 ひかりのくに株式会社 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表

新・きれいな色

FUJICOLOR SUPER G ACE 400

新・きれいな色



カラの大林

桜橋本店 ☎341-8091
阪急三番街店 ☎372-5031

動物の生態を描く唯一の文学雑誌

動物文学

昭和九年平岩米吉によって創刊

本誌は生態研究を基礎として動物文献を収集整理する
とともに、シートン、ザルテン、バイコフ等の諸作家
を紹介した本邦動物文学の母胎です。

<研究・考証・記録・随筆・翻訳等を掲載>
会費/年1,500円(切手72円・呈既刊号目次)

動物文学会

〒152 東京都目黒区自由が丘3-12-2 電話03(3717)1659・振替・東京5-9800

新作

貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」
19分(10本常備)

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料510円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)
好評発売中 ¥800(50度用)

天王寺動物園の本

入園の記念・手引に……



オールカラー

500円

園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

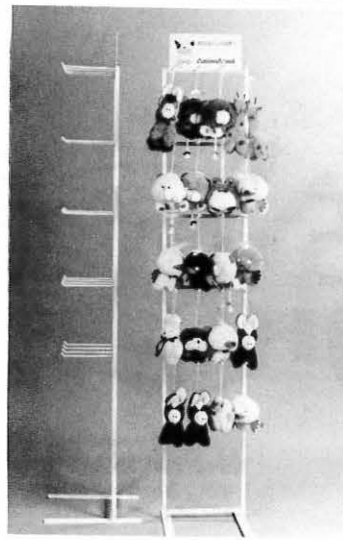
マスタのポップコーン



<営業品目> 製造機械・保温機 他
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

(株)増田食品 〒561 大阪府豊中市穂積1-10-30
TEL (06)865-0165



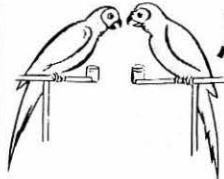


動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

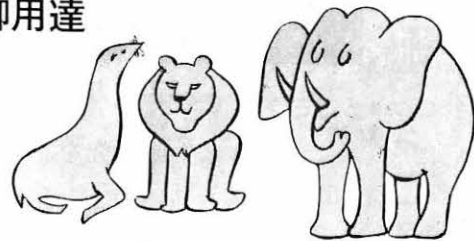
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号
TEL: (06) 704-8580
FAX: (06) 704-8565



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

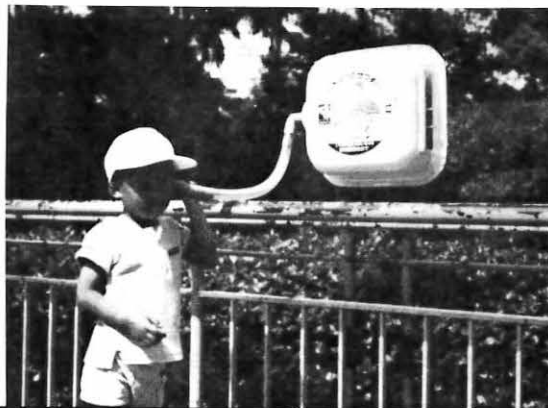


有限会社 **吉川商会**

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数カ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

動物園内での
お食事、
ご休憩は

動物園内.....

中央売店

TEL 06-771-0973



お食事・飲み物・おみやげ 動物園内
南園売店 TEL 06-771-7110



思いやり、ほんの少し、コアラのために。



多くの思いやりが、ひとつになって、オーストラリア・コアラ基金を応援します。
多くの人に支えられて育ってきたコアラのマーチ。

一方、コアラのふるさとオーストラリアでは、シドニー近郊の山火事などにより、コアラたちの安住の地が年々少なくなってきています。
そこで、ロッテでは、コアラのマーチ誕生10周年を記念するキャンペーンを実施するとともに、
コアラを取りまく環境を守ろうと、オーストラリア・コアラ基金(1986年設立)のゴールドスポンサーになりました。
コアラのマーチを支えてくれる皆様の思いやりがひとつになって、オーストラリア・コアラ基金を応援いたします。

LOTTE



Our Yogurt has fruity
and rich texture!!

“生イキヨーグル”と
覚えてね。



新発売

しほりたてミルクのおいしさが、生きている。

雪印
オグル

希望小売価格 130g/各120円 250g/各220円(税別)



HJIRI-KOJIMA



一日
愉快地
たのしめる

◎園内3ヶ所(南園高架下・北園中央デッキ北側・北園高架下)に各種のりものがあります。



久竹娛樂株式会社
TEL(06)541-3938(代)

なきごえ 1995年5月10日発行(毎月10日発行)第31巻 第5号(通巻357号)

編集/大阪市天王寺動物園事務所

発行人/大阪市天王寺動物園協会 土井良彦

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価150円(送料共) 1年継続(12部) 1,650円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区茶白山町6-74

電話 大阪(06)771-0201

振替口座 00930-2-37823

編集委員

(中山良三郎/岩倉善樹/増野悦敏/樽本 勲/中川哲男/山根和弘/吉本昌俊/谷森 進/宮下 実/長瀬健二郎/榎原安昭)
森本委利/中上正幸/堀内智生/小林崇宏/竹田正人/大野尊信/野口秀高/早川 篤/土谷正道/村上勇一/仁田原洋)